



みんなが一生懸命に取り組んだ、最後の運動会



9月14日、今年度をもって閉校が決まっている大滝中学校で、最後の運動会が開催されました。「負けるわけにはいかない！ 現役生徒の意地をみせろ！」そして「ありのままの姿を見せよう」をテーマに練習の成果を発表しました。炬火が灯されたグラウンドには、

学校関係者や地域住民、そして多くの卒業生が駆け付け、生徒たちとともに汗を流し、惜しみつつも楽しい一日を過ごしました。

日常生活に気を配り、寝たきりを防ごう！



寝たきりになる原因の一つに骨粗しょう症があります。その予防法について「転ばぬ先の杖・寝たきり予防は骨粗しょう症が鍵！」と題し、自治医科大学埼玉県人会学生による健康教室が、8月19日・21日に大滝老人福祉センターで行われました。学生たちの熱心な発表に参加者は、食生活や適度な運動、そして普段から危険防止に心がけることの大切さを、あらためて考えることができました。

市民テニス大会で中学生が優勝



9月21日、ミューズパークスポーツの森テニスコートで、第39回市民テニス大会が行われました。優勝したのは新井亮平くん（中学3年）で、大会史上最年少とのこと。現在、山梨県内の中学にてテニス修業中で、力強いサーブやストロークで、年上の相手を翻弄していました。全米オープン決勝に進出した錦織圭選手のように、世界で活躍できる選手となるよう期待しています。



小さな手に願いをこめて



8月24日、荒川日野地内で如意輪観音の縁日が行われました。安産・子育て祈願の観音様として多くの人々に信仰されており、腹帯の貸し出しを行っています。一心に観音様に手を合わせる子どもの姿に微笑まじさを感じました。

一流から学ぶサッカーの“こころ”



8月30日、影森グラウンドで、「浦和レッズハートフルクラブによるサッカー教室」が行われました。秩父郡市内の小学6年生108人が、元日本代表選手や元Jリーガーなどから、ウォーミングアップや試合などを通して、サッカーの楽しさやコミュニケーションの大切さを学びました。

フルーツ街道にかかしが勢揃い



第11回かかし祭りが、下吉田のフルーツ街道沿いで開催されました。今年は35点の応募作品があり、8月18日のコンクールで次の各賞が決定しました。

一般の部

知事賞

「ビッグベリーあります」  
彦久保 利平さん

秩父農林振興センター所長賞

「ザ、かかし」 偕楽苑

学生の部

秩父市長賞

「ポイ捨てなし なっしー」  
吉田中学校2年1組7班